

カンパニー制の概要

当行は「第1次経営計画」のスタートにあたり、「カンパニー制」を導入しました。「カンパニー制」は、従来の「業務別・機能別に本部に権限集中していた組織」から「お客さまマーケット」別の分社型組織への転換を図ることによって、激しい環境変化に適応した、より迅速な意思決定や施策展開が行える体制をめざすもので、具体的には、ますます多様化・高度化するお客さまのニーズに従来以上に的確にお応えしていくことを目的として、銀行組織をお客さまマーケット別に社内分社化し、各カンパニーが担当する事業分野の経営戦略上の位置づけを明確化しました。そして、経営環境の変化に応じた事業の再構築を柔軟かつ機動的に行い、重点分野に対する経営資源の効果的な配分を行う体制を築きます。

各カンパニーは、それぞれのお客さまに最適な商品・サービスを最適な体制で提供するための、商品開発から販売まで自己完結したいわゆる「製販一体型」の独立性ある組織としました。また、これまで本部に集中していた機能や権限をそれぞれのカンパニーへ委譲することにより、各カンパニーが「自主性・自律性・創造性」を発揮し、戦略的かつスピードある事業展開を行っていくとともに、担当するマーケットに対する責任を明確化しました。その結果、各カンパニーは配分された経営資源を最も有効に活用することにより、それぞれのお客さまに提供する価値の極大化と業績の向上に積極的に取り組むことになると期待されます。

「カンパニー制」の具体像については、お客さまマーケットごとに最適な戦略の立案や事業戦略を徹底していくという観点から、当行グループの組織をそれぞれ独立採算の組織体として、四つのカンパニーと本社部門に分割しました。

四つのカンパニーとは、国内支店における個人マーケットおよび中堅・中小企業マーケットを担当する「カスタマー＆コンシューマーバンキング・カンパニー」、大企業グループを担当する「コーポレートバンキング・カンパニー」、海外営業店・現地法人における非日系企業マーケットを担当する「インターナショナルバンキング・カンパニー」、および業務別の切り口から当行グループの市場性業務を原則すべて担当する「マーケット＆トレーディング・カンパニー」です。

また、本社部門としては、コーポレート部門が事業戦略、財務政策、リスク管理、情報・インフラ戦略、人事政策などの全社横断的なスタッフ機能を有し、行内業務監査部門が業務運営サイドから独立して内部監査機能の強化や、当行資産全体の健全性を確保する役割を担っています。

当行はこの「カンパニー制」の導入により、それぞれのカンパニーや部門の権限、責任、役割期待を明確化することで、より専門的、戦略的、効率的なグループ運営体制を構築し、お客さまの信頼にお応えできる銀行をめざして全力をあげて取り組んでいきたいと考えています。

